

- クリチバ治安情報(クリチバ大都市圏内における公共バス関連強盗の発生)
- ～感染地域に渡航・滞在を予定されている方は、家禽類や野鳥類への接触は避けてください。～
- 感染症関連情報(パラナ州におけるA型インフルエンザ(H1N1)感染状況)
.....

●クリチバ治安情報(クリチバ大都市圏内における公共バス関連強盗の発生)

7月10日付当地ガゼッタ・ド・ポーヴォ紙は、クリチバ大都市圏を運行する公共バス車内及びバス停において1日7件に及ぶ強盗事件が発生している旨大きく報じているところ、概要を以下のとおりお知らせします。

1 2012年の1月から5月にかけてクリチバ大都市圏公共バス路線において勤務する運転手及びバス運賃徴収員に対する強盗が、1,111件発生した。公共バス会社(URBS)によると、1日平均2万1,000回の運行に対し1日平均7.2件の強盗が発生している。

2 6月18日、クリチバ大都市圏においてタマンダレ/リオ・ブランコ線を運行していた路線バスにおいて、強盗犯は抵抗したバス運転手の頭を撃ち殺害した。同じく6月、ファゼンダ・リオ・グランデ線を運行していた路線バスにおいて、運転手が刃物により負傷する事件が発生した。公共バス従業員労働組合(Sindmoc)長によると、日を追うごとに強盗犯罪は凶悪化している旨言及した。

3 公共バス会社(URBS)によると、2013年7月までに市内のバスターミナル21箇所、グアダルペ(大都市圏のバスが発着するターミナル)及び筒型バス停364箇所に対し犯罪発生を阻止するため防犯カメラ622台を設置する予定。

4 公共バス会社によると、今年4月、運行管理センター(CCO)がGPSを搭載したバスの監視を開始した。運行管理センターは、バスが規定外の速度またはルートを走行した場合、当該バス運転手及びバス会社に対し、強盗被害の遭遇有無につき確認を実施する。公共バス会社は、市警備と連携して筒型バス停及びバスターミナル付近の巡回を行っている。公共バス会社は、軍警察と協力し運行管理センターにより強盗事件を撲滅したい旨述べた。

5 運転手とバス運賃徴収員はパラナ州軍警察による監視の強化を要望している。公共バス従業員労働組合(Sindmoc)は、クリチバ大都市圏における私服警察官による公共バス巡回の中止に対し不満を述べた。右を受けパラナ州軍警察は、現在もバス内、筒型バス停内及びバスターミナル内における私服警察官が巡回を行っており、バス車内だけでなく、犯罪多発地域においても実施している旨言及した。

6 2012年における強盗多発地点は以下のとおり。

(1) 路線

- ア クリチバ/カンポ・ラルゴ線
- イ ピニャイス/パラクアラ線
- ウ トラバリャドル線(Linha do Trabalhador)

(2) バス停

- ア カミロ・デ・レリス (ピニャイス市)
- イ シャシン (クリチバ市フランシスコ・デロソ通り所在)
- ウ ヴィラ・アコルデス (クリチバ市ピニエリーニョ地区所在)

●～感染地域に渡航・滞在を予定されている方は、家禽類や野鳥類への接触は避けてください。～

1. 最近の流行状況

2003年11月以来、アジア、欧州、中東、アフリカなどの広い地域において高病原性鳥インフルエンザ (H5N1型) が発生しています。現在も引き続き、世界各地でトリからトリへの感染やトリからヒトへの感染が確認されていますので、御注意ください。

最近の感染状況は以下のとおりです。

(1) ヒトへの H5N1 型鳥インフルエンザ感染状況

2011年6月10日以降、世界保健機関 (WHO) は、エジプト (アスワン県、カイロ県、カフル・エル・シェイク県、ガルビーヤ県、カリユービーヤ県、ギザ県、ケナ県、ダカハリヤ県、ダミエッタ県、ファイユーム県、ブハイラ県、ミヌーフイーヤ県) において24人が感染 (12人死亡)、インドネシア (ジャカルタ特別州、西ジャワ州、西ヌサ・トゥンガラ州、バリ州、バンテン州、ベンクル州、リアウ州) において12人が感染 (12人死亡)、カンボジア (コンポンスプー州、コンポンチャム州、バンテアイミアンチェイ州プレイベーン州) において6人が感染 (6人死亡)、ベトナム (キエンザン省、ソクチャン省、ビンズオン省、ダクラク省) において4人が感染 (2人死亡)、中国 (広東省、貴州省) において3人が感染 (2人死亡)、バングラデシュ (ダッカ) において3人が感染したことが確認された旨発表しました。

2003年以降でヒトへの感染が確認されている国は、以下のとおりです。

(2012年7月6日現在：

出典 WHO：

http://www.who.int/influenza/human_animal_interface/H5N1_cumulative_table_archives/en/index.html)

インドネシア	感染者数	190人 (うち、158人死亡)
エジプト	感染者数	168人 (うち、60人死亡)
ベトナム	感染者数	123人 (うち、61人死亡)
中国	感染者数	43人 (うち、28人死亡)
タイ	感染者数	25人 (うち、17人死亡)
カンボジア	感染者数	21人 (うち、19人死亡)
トルコ	感染者数	12人 (うち、4人死亡)
アゼルバイジャン	感染者数	8人 (うち、5人死亡)
バングラデシュ	感染者数	6人 (うち、0人死亡)
イラク	感染者数	3人 (うち、2人死亡)
パキスタン	感染者数	3人 (うち、1人死亡)
ラオス	感染者数	2人 (うち、2人死亡)

ナイジェリア	感染者数	1人（うち、1人死亡）
ミャンマー	感染者数	1人（うち、0人死亡）
ジブチ	感染者数	1人（うち、0人死亡）

計15か国 感染者数 607人（うち、358人死亡）

（2）トリへのH5N1型鳥インフルエンザ感染状況

国際獣疫事務局（OIE）によると、2012年1月以降、イスラエル、イラン、インド、カンボジア、中国、ネパール、バングラデシュ、ブータン、ベトナム、香港、ミャンマーにおいて、トリへのH5N1型鳥インフルエンザの感染が確認された旨発表しました。なお、我が国環境省の報告によれば、2011年5月10日以降、野鳥を含め、国内におけるH5N1型鳥インフルエンザウイルスの新規検出はありません。

現在までに、H5N1型鳥インフルエンザの発生が確認されている国・地域（63か国・地域）は以下のとおりです。

アジア(17)：インド、インドネシア、ブータン、カンボジア、タイ、韓国、中国、香港、日本、ネパール、パキスタン、バングラディッシュ、ベトナム、マレーシア、ミャンマー、モンゴル、ラオス

欧州(26)：アゼルバイジャン、アルバニア、イタリア、ウクライナ、英国、オーストリア、カザフスタン、ギリシャ、グルシア、クロアチア、スイス、スウェーデン、スペイン、スロベニア、スロバキア、セルビア、チェコ、デンマーク、ドイツ、ハンガリー、フランス、ブルガリア、ポーランド、ボスニア・ヘルツェゴビナ、ルーマニア、ロシア

中東(9)：アフガニスタン、イスラエル、パレスチナ自治区、イラク、イラン、クウェート、サウジアラビア、トルコ、ヨルダン

アフリカ(11)：エジプト、ガーナ、カメルーン、コートジボワール、ジブチ、スーダン、トーゴ、ナイジェリア、ニジェール、ブルキナファソ、ベナン

2. 鳥インフルエンザの発生国・地域では不用意にトリに近寄ったり触れたりせず、衛生管理にも十分注意してください。また、帰国時に高熱、咳症状がみられる場合には、検疫所の健康相談室にお申し出ください。帰宅後に同様の症状が現れた場合には、最寄りの保健所に相談し、感染地域に渡航していた旨をお知らせください。

その他、感染地域滞在の注意事項については、「海外渡航者のための鳥インフルエンザに関するQ&A」を御参照ください。

(http://www.anzen.mofa.go.jp/kaian_search/sars_qa.html)

3. 各国・地域におけるヒトへの感染状況等の詳細については、以下を始めとする各在外公館のホームページを御参照ください。

在インドネシア日本国大使館：<http://www.id.emb-japan.go.jp/flu.html>

在ベトナム日本国大使館：<http://www.vn.emb-japan.jp/medical.html>

在エジプト日本国大使館：<http://www.eg.emb-japan.go.jp/j/consulate/birdflu/archive.htm>

在中国日本国大使館：http://www.cn.emb-japan.go.jp/consular_j/birdflu_top_j.htm

○参考情報：

- ・ 鳥インフルエンザに関する情報（厚生労働省）
<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou02/index.html>
- ・ インフルエンザ対策関連情報（厚生労働省）
<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou01/index.html>
- ・ 海外渡航者のための感染症情報（厚生労働省検疫所）<http://www.forth.go.jp>
- ・ 高病原性鳥インフルエンザ（国立感染症研究所感染症情報センター）
http://idsc.nih.go.jp/disease/avian_influenza/index.html
- ・ 鳥インフルエンザに関する情報（農林水産省）
<http://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/tori/>
- ・ 高病原性鳥インフルエンザに関する情報（環境省）
http://www.env.go.jp/nature/dobutsu/bird_flu/index.html
- ・ Influenza at the Human-Animal Interface(HAI)（世界保健機 WHO）
http://www.who.int/influenza/human_animal_interface/en/
- ・ 国際獣疫事務局（OIE）http://www.oie.int/eng/en_index.htm

（問い合わせ先）

- 外務省領事局政策課（海外医療情報）
住所：東京都千代田区霞が関 2-2-1
電話：（代表）03-3580-3311（内線）2850
住所：東京都千代田区霞が関 2-2-1
- 外務省領事サービスセンター（海外安全担当）
住所：東京都千代田区霞が関 2-2-1
電話：（代表）03-3580-3311（内線）2902
- 外務省 海外安全ホームページ：<http://www.anzen.mofa.go.jp/>
<http://m.anzen.mofa.go.jp/mbtop.asp>（携帯版）

●感染症関連情報（パラナ州におけるA型インフルエンザ（H1N1）感染状況）

パラナ州保健局は、7月16日時点におけるA型インフルエンザ（H1N1）感染確認者数及び同死亡者数につき公表したところ、概要を次のとおりお知らせします。

なお、感染者数は前回調査（7月9日）に比し、29%増となった。死者は9名増。

合計感染者数：760人（死者23人）

最も患者数が多い年齢層：20～49歳（306人、死者13人）

合計都市数：138市

クリチバ：137人（死者4人）

ポインタ・グロッサ：61人（同1人）

フォス・ド・イグアス：53人

パト・ブランコ：49人

カンポ・モウロン：26人

サン・ジョゼ・ドス・ピンニャイス：22人（同3人）

ジャグアリアイヴァ：22人

カンポ・ラルゴ：18人

フランシスコ・ベルトロン：13人

ファゼンダ・リオ・グランデ：12人（同1人）

チバジ：11人（同1人）

サント・アントニオ・ダ・プラチナ：11人（同1人）

カスカヴェル：11人

コルネリオ・プロコピオ：10人（同1人）

ロンドリナ：10人（同1人）

ピンニャイス：9人（同1人）

マリंगा：9人

カストロ：9人

テレマコ・ボルバ：9人

パルマス：8人

コロンボ：7人

マチニョス：6人（同1人）

パラナグア：6人

グアラプアヴァ：6人

ジャカレジーニョ：6人

パラナヴァイ：6人